HANACO はなこ

HANA COMMUNICATION PAPER

http://www.fukuhana.jp/

2017 3・20 No.37

【特集】
今年で7年目
男性から女性へ花を贈る2月14日
フラワーバレンタイン

◎ PICK UP FLOWER SHOP　あなたの街の花屋さん
◎ 若者育成事業　研修会を開催しました
◎ 福岡県花き品評会表彰式を執り行ないました
◎ 1/21 はスイートピーの日！
◎ 日本フラワービジネス大賞を
　福岡県花き園芸連合会が受賞しました
◎ 部会活動報告

春の訪れを告げる花の一つに、
チューリップがあります。
しなやかにのびる茎の先に
色とりどりの花をつけ、
その気品ある姿は
人々を惹きつけてやみません。
たくさんの色があるなかで、
ひときわ可憐なピンク色のチューリップ。
花言葉「愛の芽生え」があらわすままに
どこか初々しさを漂わせながら
新しい季節をやさしく彩ってくれます。

PICK UP FLOWER SHOP　vol.37

JR福間駅から徒歩5分

当店は40年ほど前にJR古賀駅周辺で開業し、約4年前に現在のJR福間駅前に移転しました。福間駅周辺の再開発によって新しくできたマンションの住人をはじめ、30代から50代の地元のお客さまがほとんど。当店では自宅用の植物の需要が中心で、店内の中央にランや観葉植物などの鉢物を置いています。一鉢数百円の手ごろなものから、ギフトにぴったりの高価なものまで幅広い品ぞろえが自慢です。切り花はもちろん、一角にはプリザーブドフラワーやソープフラワーなどの雑貨を扱うコーナーもあり、常にさまざまなニーズに対応できるよう心がけています。

花の仕入れ時に重視しているのは、品質。生産者の方が心をこめて育ててくれた花を、できるだけきれいな状態で消費者に届け、長く楽しんでもらいたいと思っています。そのためには、私たち小売店が見極めながら花を仕入れなければなりません。花のある生活のよさを知ってもらい、花の消費需要の裾野を広げることにつなげられたらいいですね。

店内の中央にはランなどの鉢物を置く

大きなフラワーキーパーに切り花が並ぶ

FLOWER SHOP
花木野
（セリ番号165）

DATA
所在地：福津市日蓮野1-5-13
TEL：0940-43-2888
営業時間：9:30～18:00
休み：日曜

日本フラワービジネス大賞を福岡県花き園芸連合会が受賞しました

（一財）日本花普及センター、日本花き取引コード普及促進協議会及びジャパンフラワーセレクション実行協議会は、花き業界関係者の幅広い参加協力を得て、平成18年から、①花きの新品種の開発・導入及び活用・普及について多大な貢献や先駆的な役割を担った者、②花きの流通・販売面で新技術の開発・導入や新たな需要開発に多大な貢献や先駆的な役割を担った者、③我が国花き産業の新たな課題について意欲的に取り組んでいる者（民間企業、試験研究機関、各種団体あるいは個人等）を選考・表彰しています。

この名誉ある賞を、福岡県花き園芸連合会新品種審査会が「育種・生産部門」で受賞いたしました。「連合会会員の作出した新品種を審査し、優秀なるものを迅速に広く普及を図り、新品種の育成を助長しかつ花き園芸の発展を図るため、1952年（昭和27年）から、生産圃場における花きの新品種コンテストを実施。これまでの受賞登録品種は、280以上に達しており、多様な花きの生産者育種を普及推進し、全国でも有力な花き産地の形成に貢献した」というのが、受賞の理由です。

12月5日（月）には、東京都千代田区にある学士会館にて、日本フラワービジネス大賞2016の授賞式と記念講演が行われ、福岡県花き園芸連合会会長（福岡県花卉農業協同組合代表理事組合長）である原坦利より、新品種審査会の歴史、審査会において最優秀賞であるブルーリボン賞の経緯、昭和27年から現在までの64年間でブルーリボン賞を受賞した2833品種の中から現在まで栽培されている品種などが紹介されました。

部会活動報告

支所切花部会

支所切花部会9名は、1月16日（月）～17日（火）に県外視察を実施。今回は、国の補助金によってトルコギキョウの生産量が増加しているということで、沖縄県を訪れました。

1日目は、沖縄県中央卸売市場を訪問し、沖縄県くみあい生花（株）と沖縄県花卉卸売市場が並んでセリを行っている様子を見学しました。切り花のセリは、午後4時より開始されます。前売りで商品の約80％（ネット販売30％、電話販売50％）を売ってしまうので、セリにかかる商品はわずかだそうです。セリは、手ゼリ・セリ上げ方式であるとのことでした。経験が必要で、後継者育成に苦労しているため、セリ人になるには視察しました。センターでは、小菊や輪菊、スプレーマムの育種試験をしています。ここで育種されたものは、愛知県にて試作されて、その結果によってはパテント販売になるそうです。「他県の人は購入できないのか」と質問したところ、個人対応はしていないが、県やJAを通した管理契約であれば販売は可能との回答でした。

続いて、名護市内のトルコギキョウ生産者 津波正光氏の圃場を視察しました。ここでは、無加温・雨よけ栽培で、台風シーズンを避けた9月から11月に定植、1月から5月まで出荷というサイクルでトルコギキョウを栽培しています。津波氏は、「新しい情報や技術を取り入れた栽培をしていて、視察時にも「7節目の成長で被覆のシルバーマルチの両サイドをめくって乾燥させ、側面の根をカットして新しい根の成長を促す」という新技術を導入した栽培を行っていました。

支所切花部会

一般草花部会

きく部会

花木部会

一般草花部会

一般草花部会11名は、1月26日（木）～27日（金）に千葉県への県外視察を実施しました。

最初に、丸朝園芸農業協同組合の花き選花場『花童夢』にて、職員の方に丸朝園芸管内の説明をしていただきました。現在の組合員数は約450名で、うち42名が花きを生産しており、その中で花きを専門にしている方は10名。サンダーソニアやカラー、リューココリーネ、菊などを主に栽培しているそうです。

その後、スプレーストックやサンダーソニア、畑地性のカラーなどの管内の生産者の圃場2軒を視察しました。

トルコギキョウの栽培で有名な（株）フラワーハウスオザワでは、社長の小澤和英氏から貴重な話をうかがうことができました。小澤氏は、全国を渡り歩き、生産者や市場、小売店の方と積極的に交流し、栽培品種を選ばれているそうです。圃場では、炭酸ガス発生機で二酸化炭素を補給し、通常なら3万円する電照のかわりに安価なLEDライトを使用し、3m間隔で設置したライトで500ワット相当の光を花きに当てていました。採花後も光を下の株まで当てることで、次の花も早く咲くそうです。日照不足の九州でも温度、二酸化炭素、光の3つの環境を整えれば同じ栽培ができると小澤氏はおっしゃっていました。また、今回視察させていただいたのは旭市の圃場でしたが、成田市にも圃場をお持ちで、旭市と成田市の標高差を利用し、1品種を長く出荷できるように栽培しているとのことでした。

きく部会

きく部会9名は、2月1日（水）～2日（木）に大分県へ県外視察を実施しました。

1日目は、（有）お花屋さんぶんご清川を視察しました。（有）お花屋さんぶんご清川は、農事組合法人「出荷組合お花屋さん」に参画している菊の切花生産会社です。9000坪のフェンロー型の温室をA～F棟に分類し、各棟の施設内部を30m間隔で分割することによって、生産ステージに合わせた栽培管理、温室管理が可能になった温室で菊を生産していました。生産品種は、9月から翌年5月は「禅馬」、6月から10月は「岩の白扇」です。また、関東地方に展開する大型ホームセンターの（株）ジョイフル本田等と契約し、年4作で小菊も栽培しているとのことでした。温室では、300坪を1ブロックとし、5日間隔で苗を連続して直挿しし、年間3回転させる周年栽培が行われていました。苗は、中国、インドネシア、ベトナムから輸入しているそうです。採花された菊は、自動選花機2台を使って仕分けられ、大分空港から販売先へ空輸されていくとのことでした。

2日目は、（株）花未来を視察しました。（株）花未来は、県公社リース方式による省力栽培団地です。「晃花の富士」や「フローラル優花」といった白色の輪菊にしぼった周年栽培を行っており、無人防除システムや頭上灌水同時施肥システム、LED電照などを導入して、作業の省力化、品質の均一化、省エネ化を図っていました。

花木部会

花木部会17名は、2月8日（水）に北崎・糸島地区にて現地研修会を実施しました。

最初に、北崎地区の宗弥生氏の圃場を視察しました。この圃場では、花桃、ボケ、利休梅、サンザシが栽培されていましたが、異常気象の影響で利休梅が狂い咲きしており、花桃も花色が見えていたため、今年は開花が早いのではないかと思われます。参加者の方からは、挿し木が可能かどうかや、消毒方法などについて質問が出ていました。

次に、実際に花木がどのような形で消費者に販売されているかを見るため、JA糸島の産直市場「伊都菜彩」を訪問。「伊都菜彩」では、消費者が持ち帰りしやすいように、コンパクトなサイズで販売されていることがわかりました。

続いて糸島雷山地区にて、千両や黄金ヒバ、ユーカリを栽培する3圃場を視察しました。そのうち小川勝氏の千両の圃場は、ちょうど株や余分な枝の整理の時期にあたっており、パートの方たちが作業をしていました。ハウスのサイドは遮光ネットを2重張りにして、1枚目は遮光ネットをとじびに張って夏に風が通せるようにし、2枚目は巻き上げられるようにして千両の葉が焼けないようになっていました。

最後に、長糸地区の釘本保夫氏の圃場を訪問しました。この圃場では、榊やヤマテラシ、梅などさまざまな花木が混植されていました。

［はなこ］3月号
2017年3月20日発行
通巻125号
● 発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:
info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
● 企画・印刷　有限会社 大進印刷
　編集・（株）クロス編集事務所

特集

今年で7年目
男性から女性へ
花を贈る2月14日

フラワーバレンタイン

新しい花文化の創出と消費拡大を目指す「フラワーバレンタイン」の取り組みも、今年で7年目を迎えます。

2017年の「フラワーバレンタイン」は、福岡の花き関係者が一丸となって取り組み、福岡県内にてさまざまなPRイベントを行いました。

福岡県花卉農協では、福岡花商協同組合様、北九州生花商協同組合様にご協力いただき、1月16日（月）に福岡花市場と北九州花市場にて、セリ前に「フラワーバレンタイン」キャンペーンへの参加を買参人さんへ呼びかけ、PR活動をキックオフしました。花市場職員は、フラワーバレンタインのピンクのウィンドブレーカーや缶バッジを着用、場内仲卸各店舗のご協力のもと、ポスターやのぼりを掲示し、フラワーバレンタインへの機運を高めていきました。

高島福岡市長 フラワーバレンタイン福岡アンバサダーに就任

昨年度より、福岡で「花贈り指南役」として影響力のある方に、「フラワーバレンタイン福岡アンバサダー」へご就任いただいています。前回は、テレビやラジオでおなじみの中島浩二氏にご就任いただき、FMラジオや公開放送などで「フラワーバレンタイン」についてご紹介いただきました。

今年度は、より多くの福岡の男性市民のみなさまに「花贈り」の大切さを知っていただくため、福岡市民の男性を代表して高島宗一郎福岡市長に、「フラワーバレンタイン福岡アンバサダー」にご就任いただき、1月27日（金）には、就任式を執り行いました。福岡市役所1階の市民ロビー多目的スペースにて開催した就任式では、東京よりご参加いただいた（社）花の国日本協議会　井上英明理事長より、高島市長へ任命書を贈呈していただきました。また、当花卉農協の原坦利組合長とJA福岡市北崎花き青年部の楢崎征司青年部部長より、福岡市西区元岡・北崎地区で栽培された花を使った花束とフラワーBOXを贈呈いたしました。

式典終了後には、井上理事長、原組合長、楢崎青年部部長より、市役所を訪れた方々に、バラの一輪花を配布していただきました。

高島市長のアンバサダー就任式

初企画 JRとのコラボ企画

2月4日（土）に、花あふれるふくおか推進協議会は、JR博多駅、飯塚駅、新飯塚駅、大牟田駅、久留米駅、小倉駅の6駅にて、フラワーバレンタインイベントを同時開催。各会場にて、フラワーオブジェやポスターの展示を行ったほか、博多駅、小倉駅、久留米駅の3会場では、大切な人への花にそえる「一行メッセージ」の募集を行いました。

また、博多駅と小倉駅では、フラワーアレンジメント教室を実施し、ご好評をいただきました。

JR博多駅にて

くまモンからのサプライズプレゼント

2月12日（日）には、マルキョウ清水店（福岡市南区）にて、熊本県の宣伝部長・くまモンにご協力いただき、フラワーバレンタインのPRを行いました。

熊本県菊池市のカスミソウや草花類のPRに訪れたくまモンに、JA菊池花卉部会の女性部会員の方へ、フラワーバレンタインの花束をサプライズプレゼントしてもらいました。

また、2月12日（日）～14日（火）の期間中は、店内にてフラワーオブジェを展示して、来店された方々にフラワーバレンタインをPRしました。

飲食店コラボ企画

今年も多くの飲食店様にご協力いただき、バレンタインデー当日の2月14日（火）、もしくは2月11日（土）・12日（日）にイベントを実施。イベント日に予約したり来店した）夫婦やカップルの男性に一輪花をお渡しし、男性から女性へ花束をプレゼントしていただきました。

ご協力いただいた飲食店は、左記の方々です。（敬称略）

（福岡市内）
- ●カフェレストラン「セリーナ」（ホテル日航福岡 内）
- ●紅蓉軒（中央区春吉）
- ●スカイラウンジシルフージュ（福岡タワー 内）
- ●中華料理「鴻雛」（ホテル日航福岡 内）
- ●千舟鮨（南区老司）
- ●鉄板焼き「銀杏」（ホテル日航福岡 内）
- ●テーマレストラン「レ・セレブリテ」（ホテル日航福岡 内）
- ●日本料理　しゃぶ禅　昭和通大名店（中央区大名）
- ●日本料理　しゃぶ禅　花柚香店（中央区天神）
- ●日本料理「井慶」（ホテル日航福岡 内）
- ●ビストロアトリ（福岡東映ホテル 内）
- ●Food&WINE マルコ（中央区白金）
- ●BLOSSO（西鉄イン福岡 内）
- ●M's GRILL 煉瓦倶楽部（福岡タワー 内）
- ●糸ひす屋（中央区春吉）

（北九州市内）
- ●クラシック・ノン 1982（若松区下原町）
- ●tanga coffee（小倉北区魚町）
- ●鉄板焼きパール　ピアチューレ（小倉北区魚町）

若者育成事業 研修会を開催しました

福岡県花卉農協は、次世代の組合員や経営者を育成するため、全体研修会や地区での研修会を開催しています。

1月30日（月）に、うきは地区の若者育成事業の登録者を対象とした研修会を実施。うきは地区の4圃場を視察後、花商との意見交換会を行いました。

2月1日（水）には、福岡市博多区の八仙閣にて、若者育成事業として「花き日持ち性向上対策実証事業」日持ち性向上セミナーを開催。三部に分けて行ったセミナーでは、まず、（一社）日本花き生産協会常務理事 新野謙司氏より、「生産協会だからできる切り花及び鉢物日持ち性向上対策」という題でご講演をいただきました。

二部では、兵庫県の淡路島より、花き生産に役立つ新しい栽培技術や切り花を長く楽しむための取り扱い技術、流通や小売での問題点などの情報発信に努められている宇田花づくり研究所代表 宇田明氏をお招きし、「日持ち性向上の対策の課題・こうすれば日持ちが延びる-」という題でお話いただきました。

そして最後に、（有）花物語代表取締役社長 下賀健史氏に、「小売店に於ける品質管理への取り組みについて」ご講演いただきました。

花き日持ち性向上対策実証事業の実施機関、研究者、花商、それぞれの立場からのお話はたいへん興味深く、参加者の方々には今後の生産に活かしていただければと思いました。

うきは地区研修会

日持ち性向上セミナー

初企画 "世界でいちばん花を贈る日「フラワーバレンタイン」"開催

1月27日（金）～29日（日）に渡って、福岡市役所1階の多目的スペースにて"世界でいちばん花を贈る日「フラワーバレンタイン」"と銘打ち、フラワーバレンタインのPRイベントを行いました。

開催期間中は、福岡市西区北崎地区および元岡地区を中心に、福岡市で生産された花きを使ったフラワーオブジェを展示しました。また、"大切な人への花にそえる「一行メッセージ」"の募集も行いました。

28日（土）には、フラワーウォークを実施。参加した生産者、花商、福岡花市場職員など福岡県内の花き業界関係者は、フラワーバレンタインのピンクのウィンドブレーカーを着て花束やフラワーバレンタインのピンクのウィンドブレーカーを着て花束やフラワーバレンタインのパネルを持ち、フラワーバレンタインをPRしながら渡辺通りを歩きました。

また、福岡パルコ前、ソラリアステージ前、福岡三越前、天神ツインビル前の4か所にて、通りを歩く男性にフラワーバレンタインの公式スリーブに入った一輪花とチラシを配布し、男性から女性にお渡しいただくよう呼びかけました。

29日（日）には、市役所の多目的スペースにて、午前と午後の2回に分けてフラワーアレンジメント教室を実施。参加者の皆さまは、北崎産の花きを使ったアレンジメントの作成を楽しみました。

フラワーウォーク

初企画 博多リバレインとのコラボ企画

2月10日（金）～12日（日）の期間に、文化施設と商業施設が融合した大型複合施設・博多リバレイン（福岡市博多区）とコラボ企画を実施。

花のオブジェを展示し、来館されたお客様に、フラワーバレンタインをPRしました。

福岡県庁を表敬訪問しました

2月1日（水）に、福岡県花き園芸連合会は、福岡県庁を表敬訪問。福岡県民の女性の代表として大曲昭恵福岡県副知事に、フラワーバレンタインの花束やフラワーアレンジメントをお贈りしました。

また、花あふれるふくおか推進協議会は、2月7日（火）～14日（火）の期間、福岡県庁1階ロビーにてフラワーバレンタインのPRコーナーを展開。福岡県花商団体連合会様に作成していただいた福岡県産の花きを使ったアレンジメントやブーケを展示しました。

大曲副知事へフラワーアレンジメントを贈呈

福岡タワーとのコラボ企画

2月12日（日）～14日（火）には、福岡市で唯一「恋人の聖地」として認定されている福岡タワーとのコラボ企画を実施。

期間中、福岡タワーのイルミネーションを使った「LOVE」の文字を点灯していただきました。また、1階のロビーにて、花のオブジェを設置し、大切な人への花にそえる「一行メッセージ」の募集を行いました。そして、バレンタイン当日には、ご来館いただいたカップルに福岡市西区北崎地区で栽培されたバラをプレゼントしました。

店頭プロモーション

福岡花商協同組合様と北九州生花商協同組合様にご協力いただき、各組合員の皆さまに、「フラワーバレンタイン」ののぼりやポスターを店頭に設置していただきました。また、店舗ごとにオリジナルの企画を展開していただきました。

お店ごとに趣向を凝らした企画を実施していただきました

メディアプロモーション

多くのメディアにご協力いただき、テレビやラジオなどを通して、福岡の一般消費者の方々にフラワーバレンタインのPRを行いました。今年は、昨年を上回る40媒体（昨年37媒体）となり、ラジオ・新聞を中心にご紹介いただきました。

RKBラジオ「大庭宗一 博多熱風塾」にて

1／21はスイートピーの日！

1月21日は、「スイートピーの日」です。

「スイートピーの日」は、「春の花」の代名詞であるスイートピーをより多くの人に楽しんでもらおうと、全国の花の生産者・生花店・園芸店などで構成される「日本スイートピーの会」によって提唱され、昨年の2016年12月29日には、（一財）日本記念日協会によって正式に記念日として登録されました。

登録されてから初めて記念日を迎えた今年、全国の生花店や園芸店などで「スイートピーの日」を盛り上げようとさまざまなフェアが開催されました。

福岡県花卉農協では、1月15日（日）～20日（金）の期間に福岡花市場場内の特設展示場にて、JA宮崎経済連・JAおおいた経済連と合同でスイートピーの展示を行いましたました。そして、JA宮崎経済連の川村氏にご来場いただき、セリ開始前に買参人の皆さまへ「スイートピーの日」についてご紹介いただきました。

また、川村氏には、RKBラジオ「大庭宗一の博多熱風塾」にご登場いただき、生産量全国一位を誇る宮崎県のスイートピーについて詳しくお話いただきました。この様子は、1月15日（日）19時より放送され、一般消費者の方々に「スイートピーの日」をPRすることができました。

スイートピーの日の展示 in 福岡花市場

福岡県花き品評会 表彰式を執り行いました

花あふれるふくおか推進協議会は、1月19日（木）に、八女市民会館「おりなす八女」にて、平成28年度福岡県花き品評会「技術・ほ場の部（電照菊）」の表彰式を執り行いました。福岡県花き品評会は、花きの品質や管理技術を競うことで、生産技術を向上させていこうと毎年度開かれています。

今年度は、八女市の末石敏氏が、農林水産大臣賞を受賞され、賞状と盾が贈呈されました。